



早くしてくださいよ。

ミサトさんの足、綺麗だなあ。

あんたねえ！

言い返せない相手には強くなつて…

み、ミサトさん、そうっ！  
いやあ、嬉しいなあ…

グッ

ツネ

ツネ

ツネ

ツネ





ネルフが解散したらミサトさんは僕の命令を  
何でも聞いてくれる契約なんですよ？

むああつ！  
はあつはあつ…  
幸せだなあ…  
パイロットを頑張つて良かったですよ。  
命をかけて戦つたのは僕ですからね。



さあ、僕のコレの味を味わってください。  
もうミサトさんの全権限は僕にあるんだから。



もつとガッブガッブと激しくやっつけてくださいよ！  
ねえ、ミサトさん！

あぶらやめなさい！！  
シンジくん！！

いいじゃないですか、  
加持さんのは何度も啜えたんですよ。

ヤッ

グッ

フホ

グッ

グッ

グッ

くううう

ミサトさんの口に出すっつていいな

んばつ：はあつ：

あ、あんた：

こんな事して恥ずかしくないの？

どうせもう皆終わりなんですよ。

なら最後までいやりたい事やった方が

いいじゃないですか。

グッ

グッ  
ポ

モ

凄いや、ミサトさんが僕の  
言いなりになってくれるなんて。



お尻が震えていますよ。



へ〜これが女性のアレなのか。

なでなですると気持ちいいんでしょう？

指、入れますよ。

うわ、あつついな。

し、シンジくん、今ならまだ戻れるわ。

良く考えなさい。

…ごめんね、ミサトさん。





うわっはっあっああっ  
ミサトさんっ！  
と、とってもいいです！



んん...  
んん...  
はああ...  
気持ちよかったあ...  
中出しちゃってすみません。

シンジ君...  
なんて事を...  
はああ...  
気持ちよかったあ...  
中出しちゃってすみません。

シンジ君...

はあ

シンジ君...

はあ

ミサトさん、一つに繋がってるね…  
いい眺めだなあ…

さあ、こうやって入れたままじゃ  
いつまで経っても終わらないよ。  
まあ、このままでもいいけどね。

あきれた…  
もう何を言っても無駄ね…





いついいよ…ミサトさん…  
やっぱり上手いなあ  
アソコでチンチンをシゴクなんて、  
人間って良く出来てますよね。  
はああ…いい感じだなあ…



うあつ！  
ほ、ほら、見て、もう出たから  
止まっていいよ。

はあつ…はあつ…  
さあ、もういいでしょ。  
私はもう行くから。

誰が行っていいって言いました？  
ミサトさんと僕はこのままずっと  
繋がってるんですよ。  
最後の日までね。



もう少しスカートをめくりたまえ。

はい。

ネルフから全権利を託された。  
私の命令はネルフの命令という事になる。  
いいね。



これから私と一緒に住むんだから  
君の体は私がチエックしないとな。

へん

ふふ・・・いい体だ。  
ここを触られると気持ちいいだろ。

へん  
ちやく  
ちやく  
へん  
ちやく



時間はたっぷりあるんだ。  
ゆつくりと味を楽しませておくれ。  
はあ〜この味、この匂い、  
癒される…





もおっ！  
突然ピシャツと出したな。  
恥ずかしがらずに先生に曝け出していいんだぞ。

ククク

グッ

ん



じゃあ、チンコの準備体操しないとな。  
ちよつと激しくいくぞ。  
これから私にご飯を食べさせてもらうんだから  
お礼の仕方もしっかり勉強せい。

げほっ！  
くるし...

んどっ！  
ぶはあっ！  
もげつもげっ！

むうう、出すつもりは無かったが  
この顔を見てたら思いつきり  
ぶちまけたくなってしまうた！





だ、ダメ！！  
いや！！

これ、暴れるでない。  
これは命令だぞ。  
命令違反するつもりか？

くうう！！



ぐおおつ  
いいっ！  
お前はもう私のものだ！  
ほれっ！ほれっ！

フタ



さあつ！  
一緒にいくぞお！  
むああ！  
かわいい生徒に中出ししてしまった…

くううう…  
う…う…

が

が

が

が

ぶ

が

ぶ

た

た

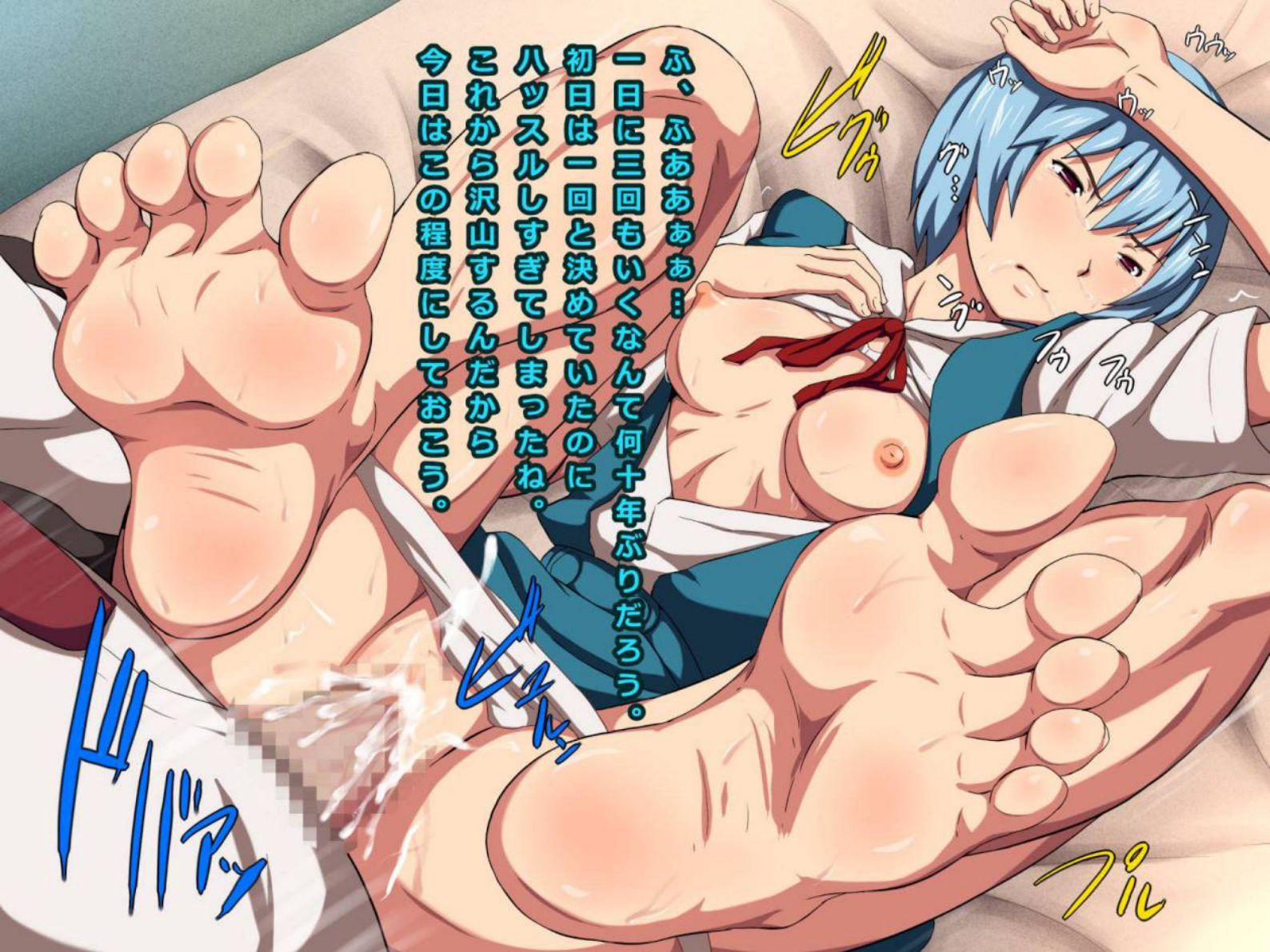
こうしてるのは君と仲良くなる為だからね。  
わかるかい？



じゃあ君の体が私を受け入れるまで  
何度でも突いてあげよう。







ふ、ふああああ！  
一日に三回もいくなんて何十年ぶりだろう。  
初日は一回と決めていたのに  
ハッスルしすぎてしまったね。  
これから沢山するんだから  
今日はこの程度にしておこう。

フッ  
フッ  
フッ

フッ  
フッ

フッ  
フッ

フッ

フッ

フッ

フッ

フッ

フッ

フッ

フッ

フッ

フッ

フッ

フッ

フッ

す。

わんわん

ネルフ優待券とネルフ割引で  
ほぼタダでこんな事してもらっちゃって。

可愛い手でミルクのおくれえ！

じゅわん じゅわん

ニヤん ニヤん  
ニヤん ニヤん  
ニヤん

むああ…ここは極楽なのか…  
女子に手すら握って貰えないワシが  
こんなめんこい子とくっついてる…



♡♡♡

ひいつー！

いくっ！

ワシの出る所を見て！

はあっはあっはっ！

んんっ！

！！終わりました、終了します！！

んんん

グニッ

ンンン

ンンン

ま、まで、今日はフルコースで注文したんだ。  
まだ終わりじゃないぞ！



これこれ！  
綾波ちゃんが一番臭い所を嗅ぎながら  
フェラのご奉仕！  
むううう〜一生ことうしてたい！  
あ、綾波ちゃん！  
そんなに強くしたら出ちゃうってばあ！

アッ アッ

クニッ

クニッ

クニッ

クニッ

クニッ クニッ

ほ、ほら、もう出ちゃった！  
綾波ちゃんのいじわる！  
さあ、尿道の精子を吸ってもらおうよ。





ほら、どうした？

見てるだけでは玉袋の中の精液が

君の体の中にピュツと出ないぞ。

もう命をかけて戦う必要もないんだし、

こういう事を覚えていかないとな。



おおおっ！  
出来るじゃないか！  
うはっ！  
いっつおじさん我慢できねえ！  
綾波ちゃんの汗、おいしいよ！

アッ

アッ

アッ

アッ

いっつ

うはっ



むはっはあああ！

もう：限界です！

いいんだよ休んで。  
そのかわりにたっぷり綾波ちゃんの  
汗とか唾液とか飲ませてね。  
若返る媚薬なんだから。

クッ  
クッ

クッ  
クッ

クッ  
クッ

クッ  
クッ





綾波！綾波！綾波ちやあん！  
はああつ！  
いついつ！  
一つになろう！  
君も心を開いて！

↑  
↑  
↑

キュ

キュ

ア

Hei

Hei

Hei

Hei

Hei

Hei

Hei

Hei



はひっ！  
はああ！  
う！なんで！

むっ！  
はあああ！  
綾波の体臭好き！  
足裏の油や古い角質を全部食べたい！

ネルフでは君を推してたんだよ！  
君以外は指名しないからね！  
もっともっと仲良くなるうね！

うん！

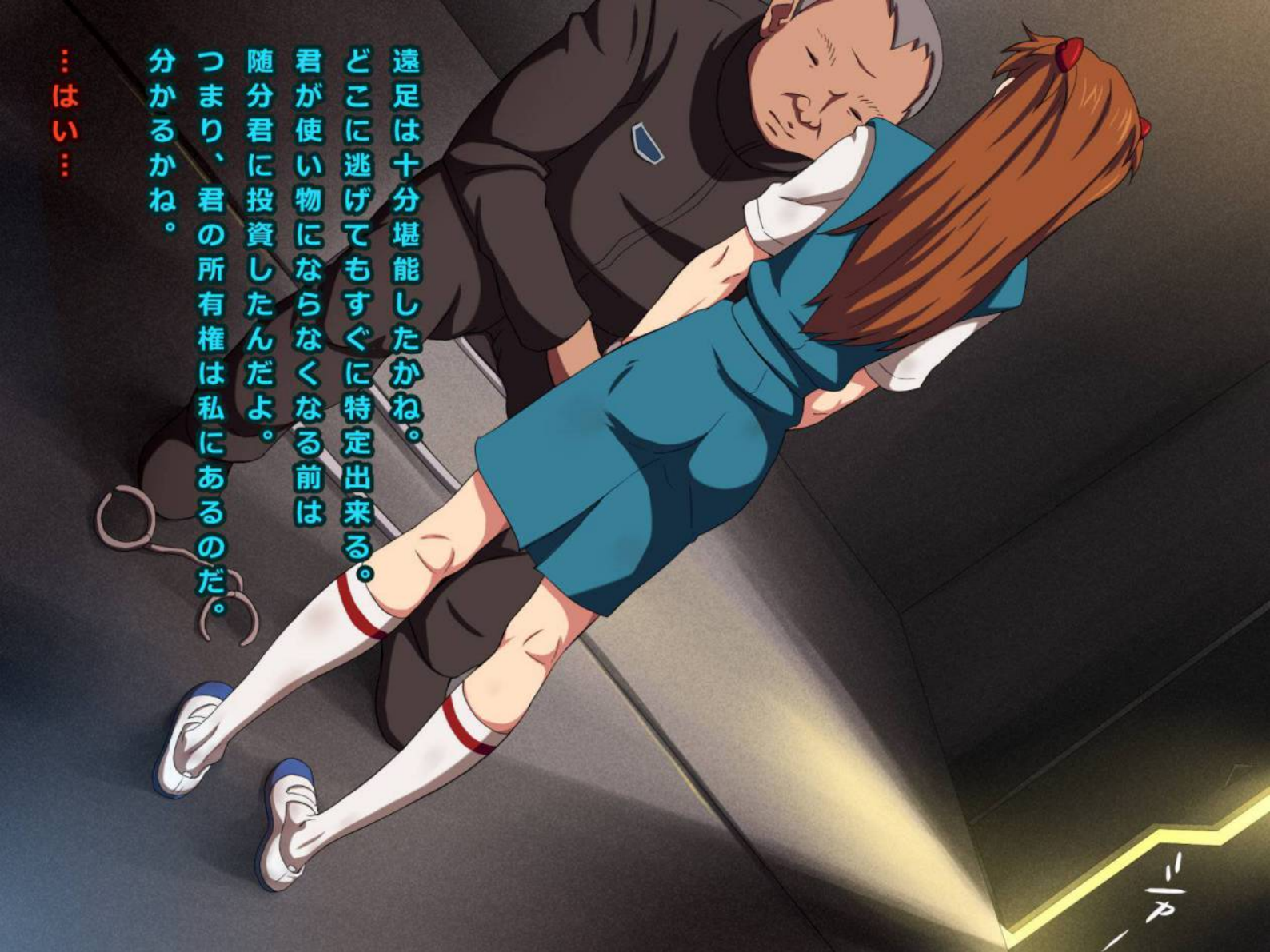
ぐわんぐわん

ぐわん

ぐわん

ぐわん

ぐわん



遠足は十分堪能したかね。  
どこに逃げてもすぐに特定出来る。  
君が使い物にならなくなる前は  
随分君に投資したんだよ。  
つまり、君の所有権は私にあるのだ。  
分かるかね。

…はい…

やるべき事は分かっているよね。  
きっと君も満足するだろう。

1107

42

4270

60

60





歯を立てるんじゃないぞ。  
どうだ？  
苦しいか？  
喉でシゴくのが好きでな。  
おい、もどすでないぞ。



ふふ：

君の口は私の便器だ。  
好きなだけ出させてもらおう。

随分としおらしくなったな。

モグ

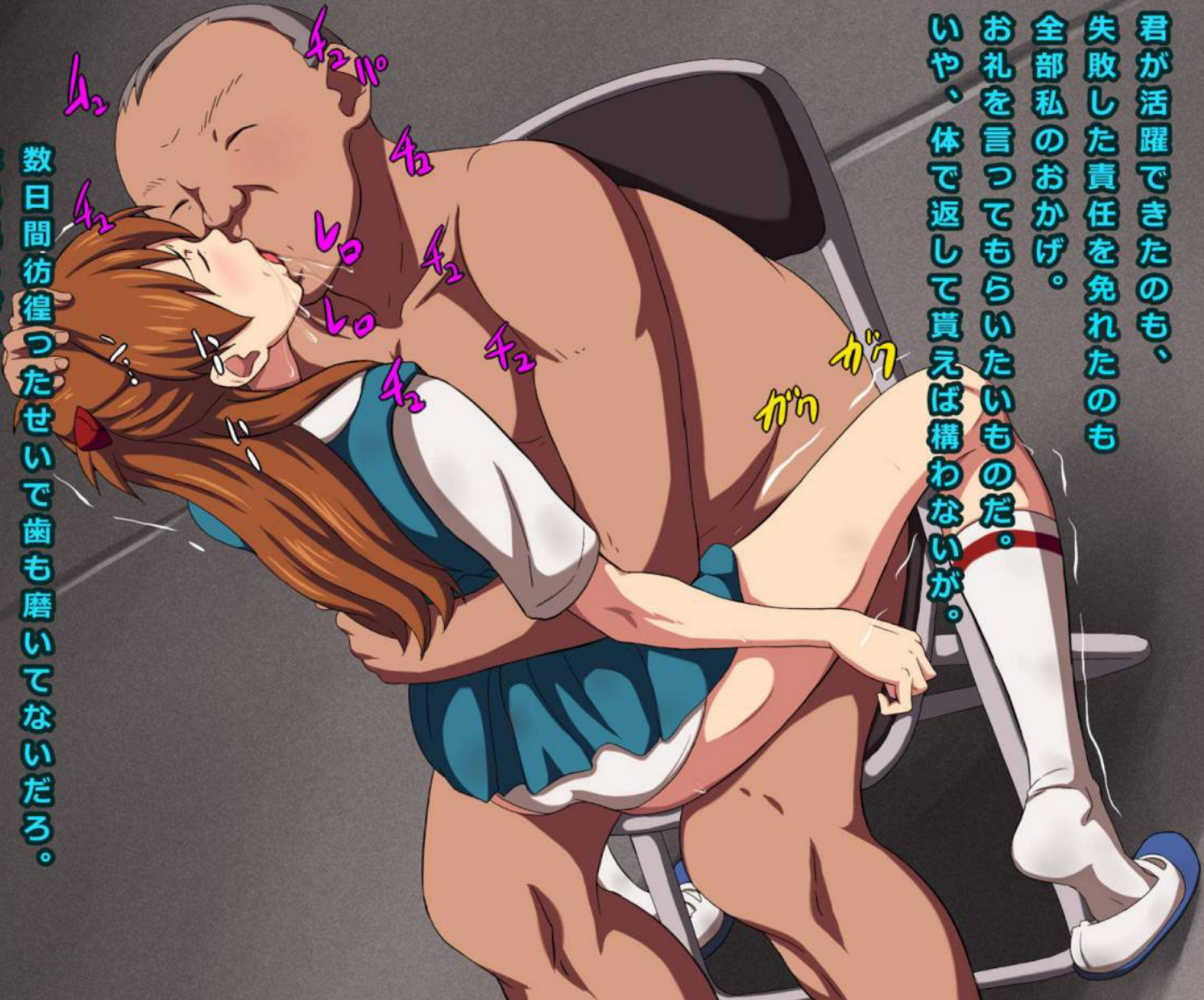
びん びん

ぐぐ

いぐ

君が活躍できたのも、  
失敗した責任を免れたのも  
全部私のおかげ。  
お礼を言ってもらいたいものだ。  
いや、体で返して貰えば構わないが。

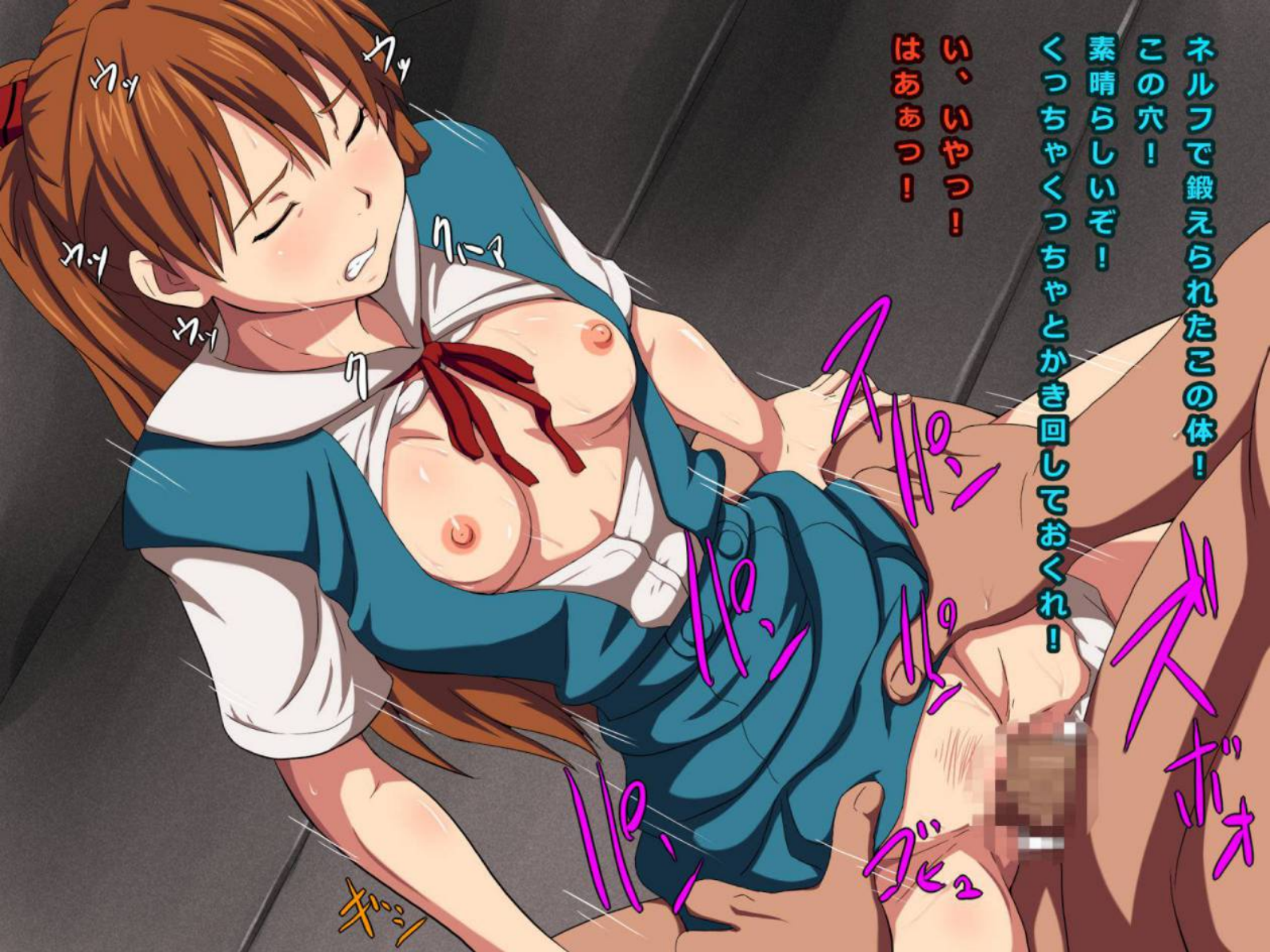
数日間彷徨ったせいで歯も磨いてないだろ。  
体も臭うぞ。  
私の舌で尻の穴までメンテナンスしてあげよう。





震えてるな。  
安心したまえ。  
一度慣れてしまえば君も  
快楽に酔いしれる事になるだろう。  
さあ、心の準備はできたな。





ネルフで鍛えられたこの体！

この穴！

素晴らしいぞ！

くっちやくっちやとかき回しておくれ！

い、いやっ！

はああっ！

カニ



むうっ！  
うおおっ！  
ふう、はあ…はあ…  
これだつて立派な任務なんだから  
恥じることはない。

ガッ

ガッ

ガッ

びしょ

びしょ

びしょ



君を泳がせていたのは  
汚れた体を堪能したいが為だ。  
臭う、臭うぞ、アスカの足から  
脂汗の臭いが。

何するの...  
や、やめて...

契約したはずだ。  
一度エヴァに乗ってしまえば  
二度と自由になどなれないのだよ。  
それ、いくぞ！

しゅん  
しゅん  
しゅん



あ...いあ...あ...  
ああ...

ほれほれ、汚れた足を舐め舐めしてるぞ。  
どうだ?  
恥ずかしいか?

どろ

どろ

どろ  
どろ



ほれ、泣け、叫べ！  
むうう、もつと抵抗した方が面白いのだが。  
まあいい、ならば遠慮なく楽しませてもらう。

ググ

ググ

ググ

ホ

ホ

ウ  
ウ  
ウ  
ウ



はあっ…ふおお…  
ふうふう…

今日の任務はこれで終わりだ。  
おつかれさん。

それと、きちんと運動してその体型は維持するんだぞ。  
私の命令を守れば待遇を良くしてやろう。

今日は随分可愛い子が相手してくれてるんだね。  
そこらの風俗よりずっと高いけど、これなら満足だ。

君はあのロボットを動かしてたんだよね。  
若いのに偉いねえ。  
複雑な操縦幹よりワシのシンプルなヤツを  
上下に振るだけでお金になるんだ。  
楽でいいだろ。



おおおっ！  
尿がワシの顔にポタポタと！  
苦い！そしてあつたかいのお！

こんなに間近で尿が出る所を見た事はない！  
うおおおお！  
うくっ！





やった！  
こんな可愛い子と本番が出来るなんて！  
交渉してみるもんだなあ！

オジサンの竿はもうピンピンだよ。  
かわいい穴でジユボジユボしたい！

フツ

ぐわ  
ぐわ

こういう体制でいいですか？

ふむ、頑張ってくれたまえ！





アッ

アッ

アッ

アッ

ビュッ

アッ

アッ

す、すごいっ！  
大人しいのに動きは激しいんだね！  
む、むああっ

もうちよつと遅くしますが…

いや、それでいいよっ！

ん、んっ！

止まってくれ！  
もう出たから！

うひゃ〜やっぱり穴は一番だわ。  
精子は口で綺麗にしてくれよ！

それは追加料金という事になりますか…

う…わかった。  
厳しいなあ…





綾波ちゃんも捨てがたいのだが、君にして良かったよ。

そおれっ！  
アスカっ！  
アスカちゃんのマ○コ○に○シ○のチンチンがっ！  
ほっおっおっおっおっ！

グッ  
グッ  
グッ  
グッ  
グッ  
グッ



で、天国じゃああ…  
また会いに来るから、  
今度はもっとサービスしてね！

匂い嗅ぎたい！  
はほっはほっ！

アスカちゃんの臭う部位を  
ワシの物にしたい！  
ふうふうっ！

は、は…  
S…  
U…  
U…

ムホッ

クワン

ビュン

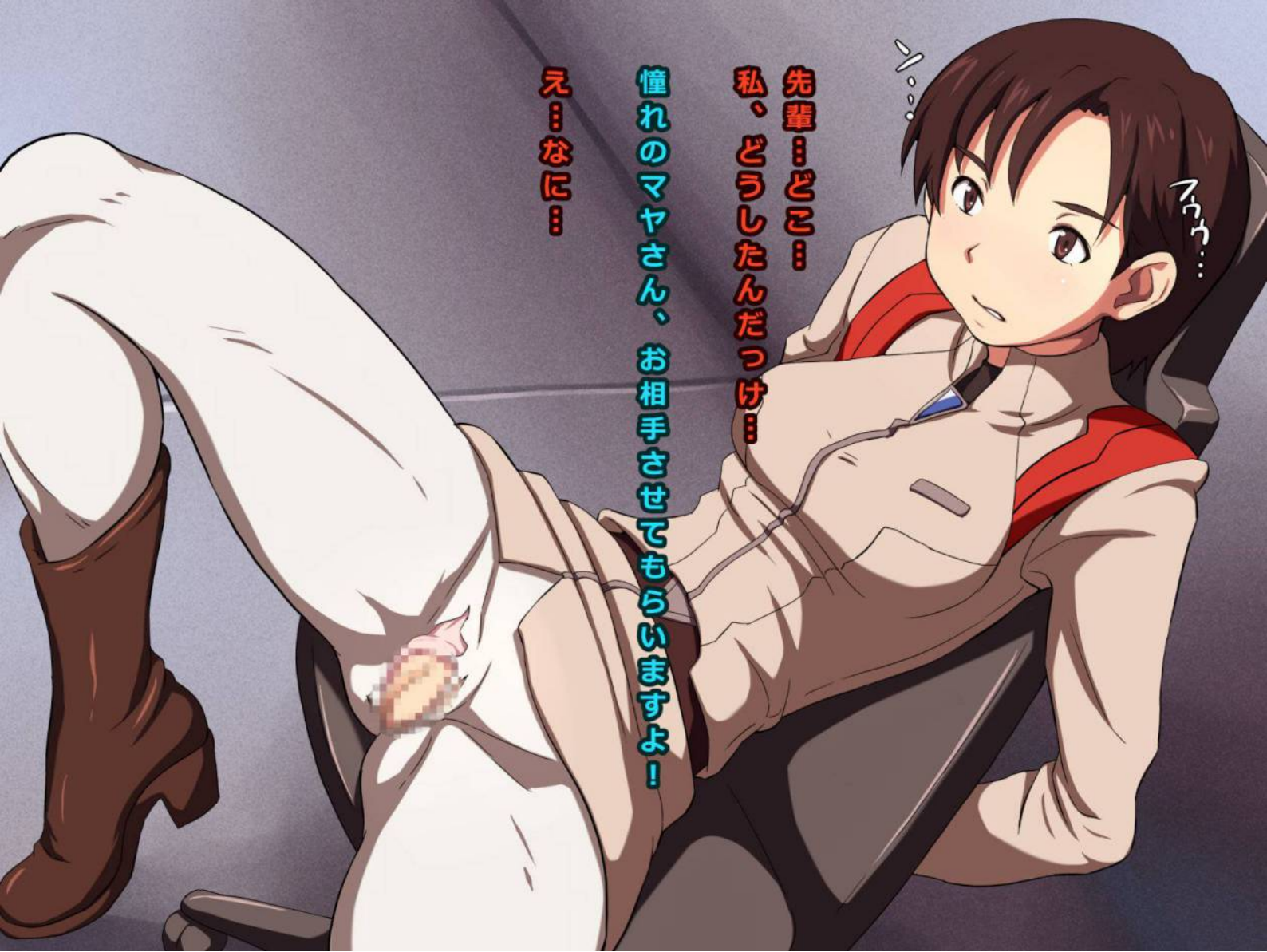
ビュン

ビュン

ビュン

クビュ

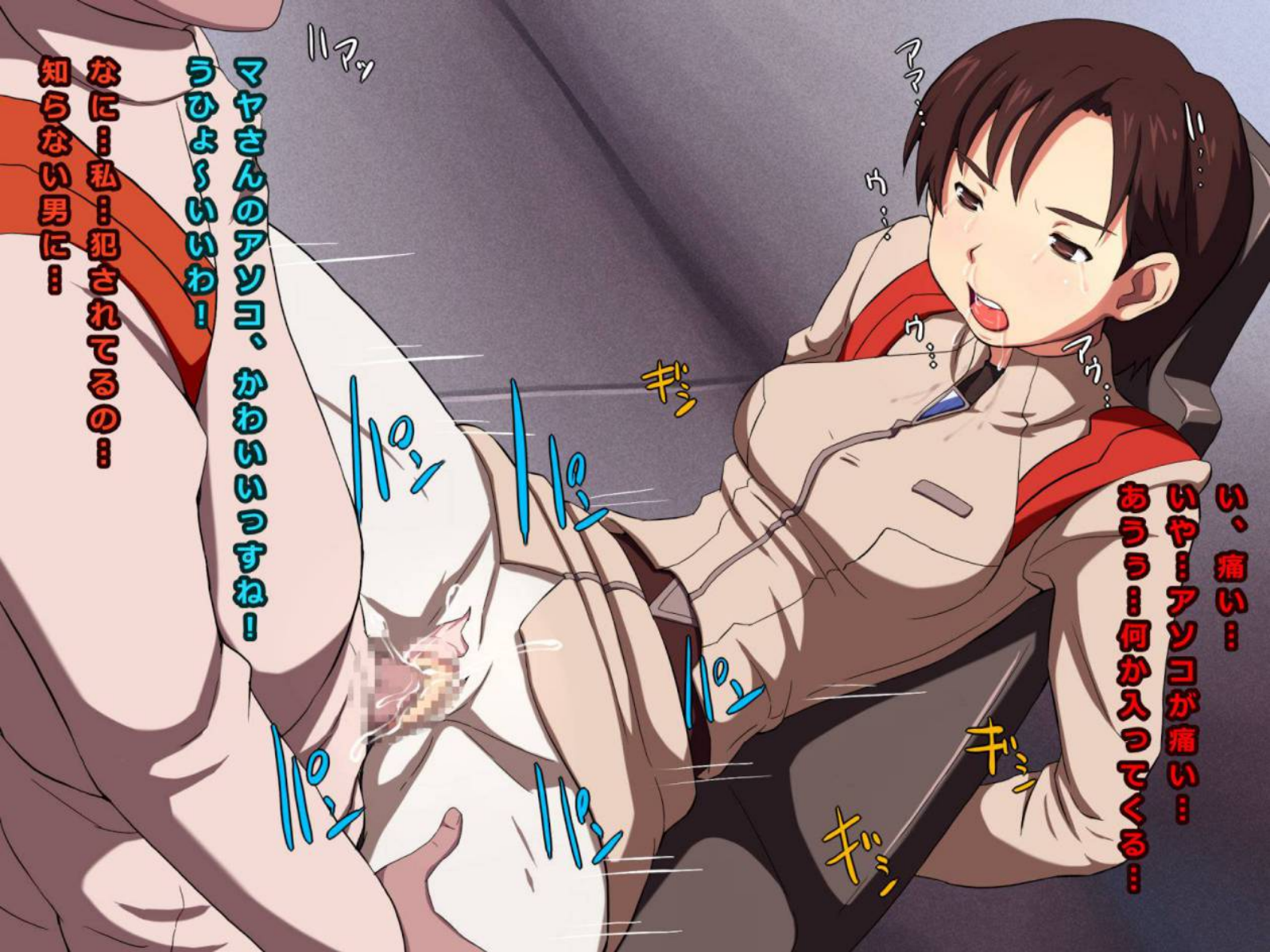
ビュン



先輩：どこ…  
私、どうしたんだっけ！

憧れのマヤさん、お相手させてもらいますよ！

え…なに…



なに：私：犯されてるの：  
知らない男に：

ママさんのアソコ、かわいいっすね！  
うひょーいっわ！

ハッ

アア...

ウ...

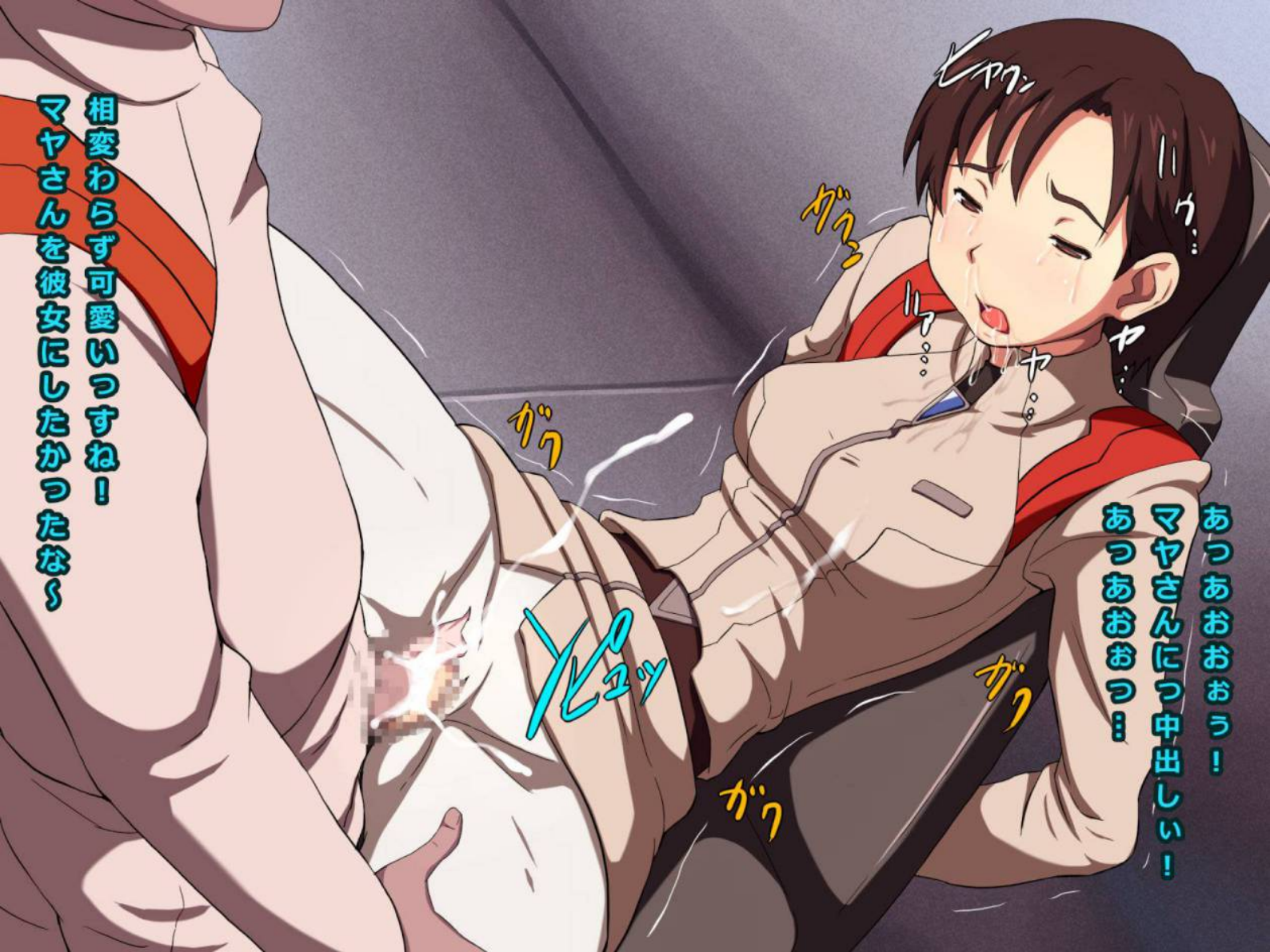
ギン

い、痛い！  
いや：アソコが痛い！  
あうう：何か入ってくる！

ノッ  
ノッ  
ノッ  
ノッ  
ノッ  
ノッ  
ノッ  
ノッ

ギン

ギン



相変わらず可愛いっすね！  
マヤさんを彼女にしたかったな

あっあおおおう！  
マヤさんにつき中出し！  
あっあおおっ！

がっ

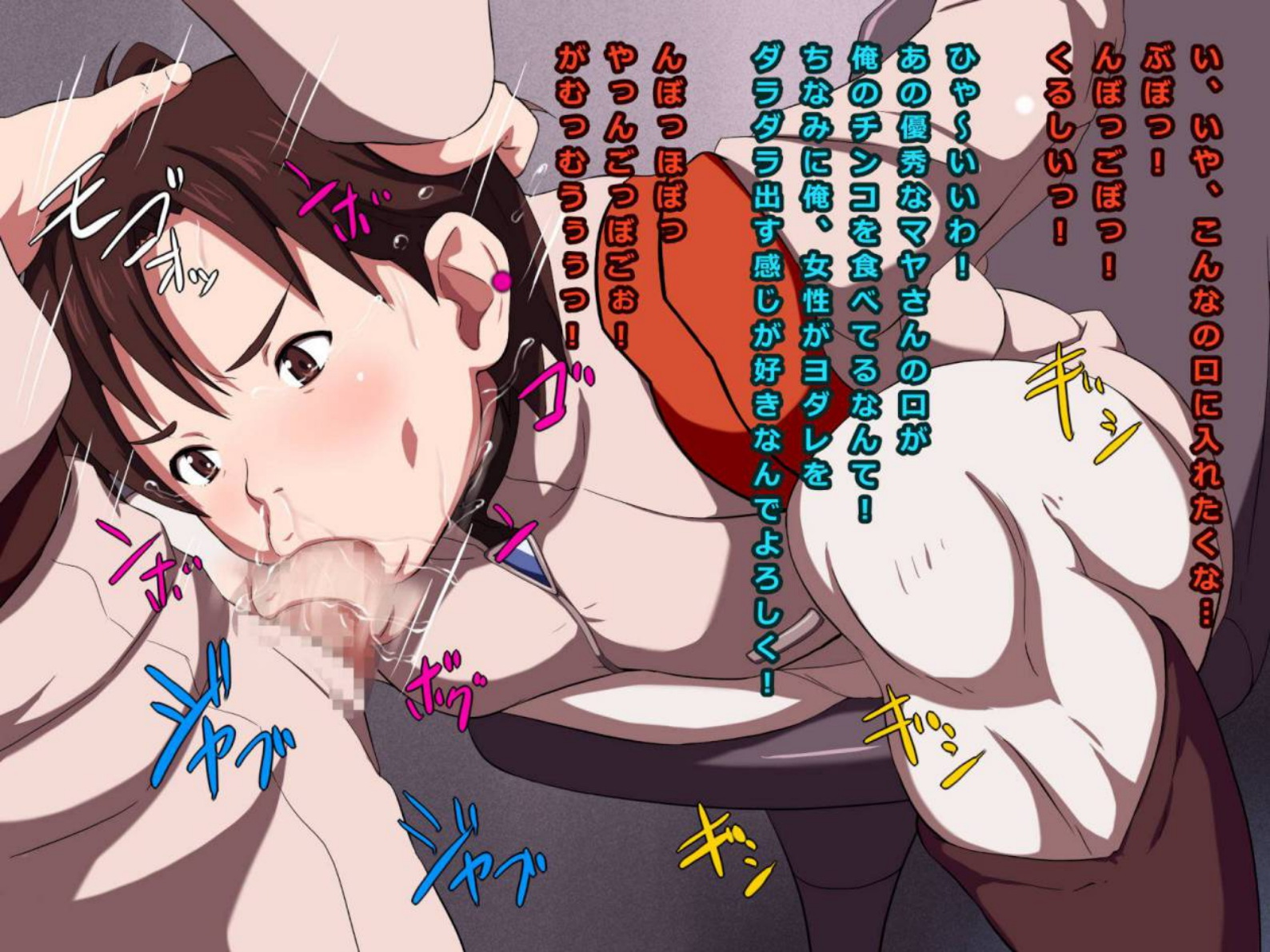
がっ

あっ

がっ

がっ





い、いや、こんな口に入れたくな  
ぶぼっ！  
んぼっごぼっ！  
くるしいっ！

ひゃーいいわ！  
あの優秀なマヤさんの口が  
俺のチンコを食べてるなんて！  
ちなみに俺、女性がヨダレを  
ダラダラ出す感じが好きなんでよろしく！

んぼっほぼっ  
やつんごっぼごお！  
がむっむうううっ！

モグ  
グッ

ッガ

ッガ  
ッガ

ッガ

ッガ  
ッガ

ッガ

ッガ



ぼごっんぼっ  
ごぼっぼごえ！んちよっんちよ！

くううううう

エ回いな～マヤさんの顔！

あ、ごめんなさい、

俺の精子気持ち悪いですか？

でも俺は今めっちゃ気分爽快ですよ！

ガッ  
ガッ

ムオ  
ムオ

ムオ

グッ  
グッ

モッ！！

グッ

モッ

ヒッ  
ヒッ

モッ



マヤさんのブーツに包まれた足！  
ブーツ履きっぱなしだと蒸れますよ！  
女性の足を嗅ぐなんて失礼だと思うけど、  
好奇心が抑えられません！  
く〜んがりしていいニオイ！

い、いや…  
せ、先輩…助けて…

ズン



もう突いて突きまくっちゃうよ！  
ほっほっほっほっ！  
スポンスポンと吸いついてる！  
マヤさんのアソコって小ぶりで可愛いです！

あつあつ…  
ひやつ…だめ…  
んっんっんっ！

ギン  
ギン

ギン

グ  
グ  
グ  
グ  
グ  
グ

グ  
グ  
グ  
グ  
グ  
グ

グ  
グ  
グ  
グ

こみあげてくるっ！  
一緒にイキまじよう！

あ、大丈夫ですよ、  
マヤさんは避妊薬使ってるみたいなんです。  
これからはこういうお仕事をするんですから。

中には出さないで…  
お願い…  
ああ…



すみません、リツコさんにこんな事してもらって…

いいのよ。

こうなったのは私のせいでもあるんだから。

気持ちいい？

アア…

…

は、はー！  
最高です！



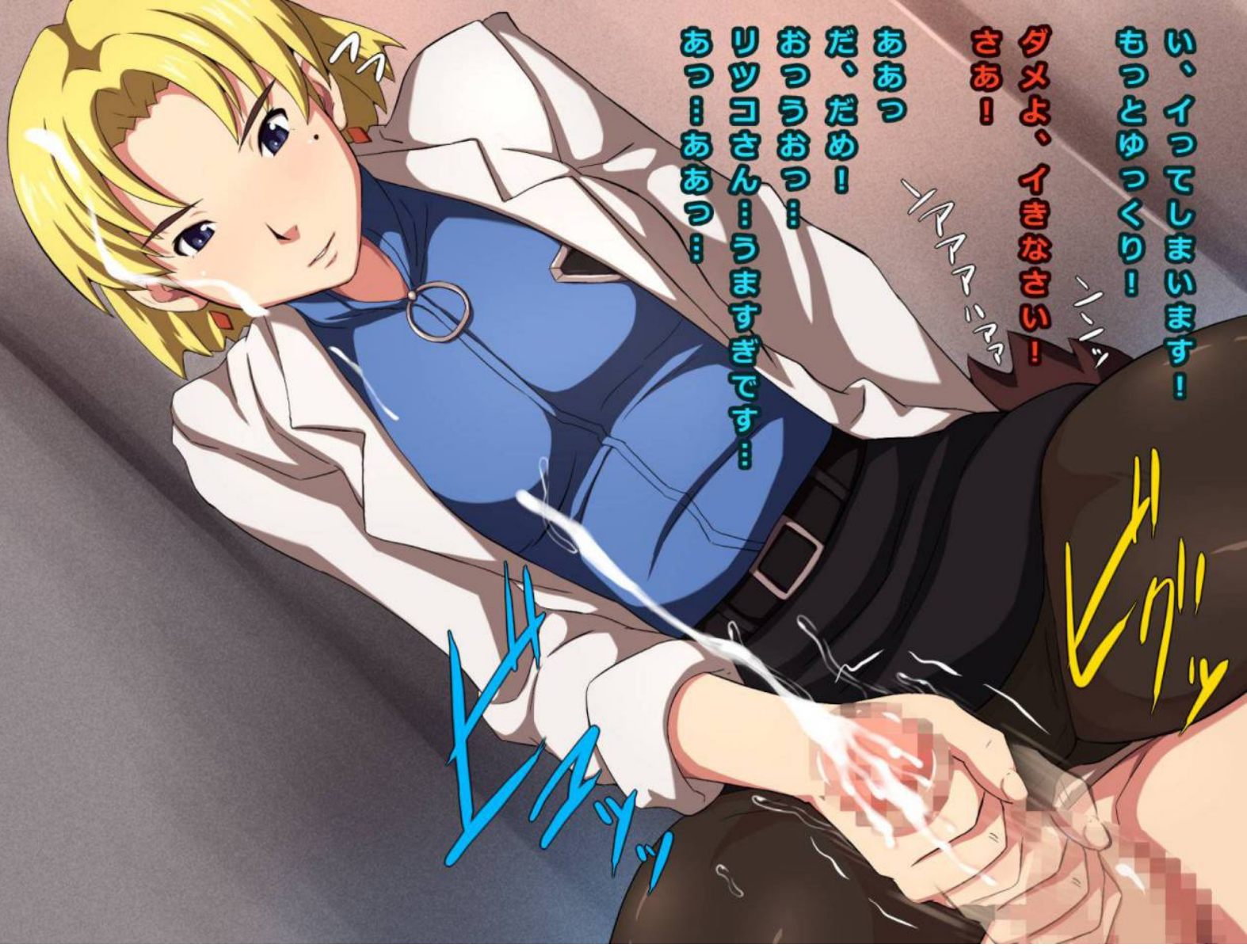
い、いつてしまいます！  
もつとゆっくり！

ダメよ、いきなさい！  
さあ！

ハハハハハハ

ああっ  
だ、だめ！  
おっうおっ！  
リツコさん…うますぎです…  
あっ…ああっ…

ハハハハ



リッコさんの憧れの足が目の前にあるなんて  
もう食べつくしたくなっちゃいます！

むぼっ：債務処理が残ってて  
むっむっむっ：ぶはっ  
きちんと相手してあげられなくてごめんなさいね。

い、いや、いいんですよ！  
仕事足のの方が興奮しますから！





あうっ！

リツコさんの口が俺の精子でベトベト…  
なんだか申し訳ないです…  
本当はリツコさんがこんな事しなくていいのに…

いいよ。

私は半端な気持ちでここに来たわけじゃないの。  
責任は果たすわ。

あなたは後15回出来るんだから、  
好きな時に言っつてね。

は、はい…

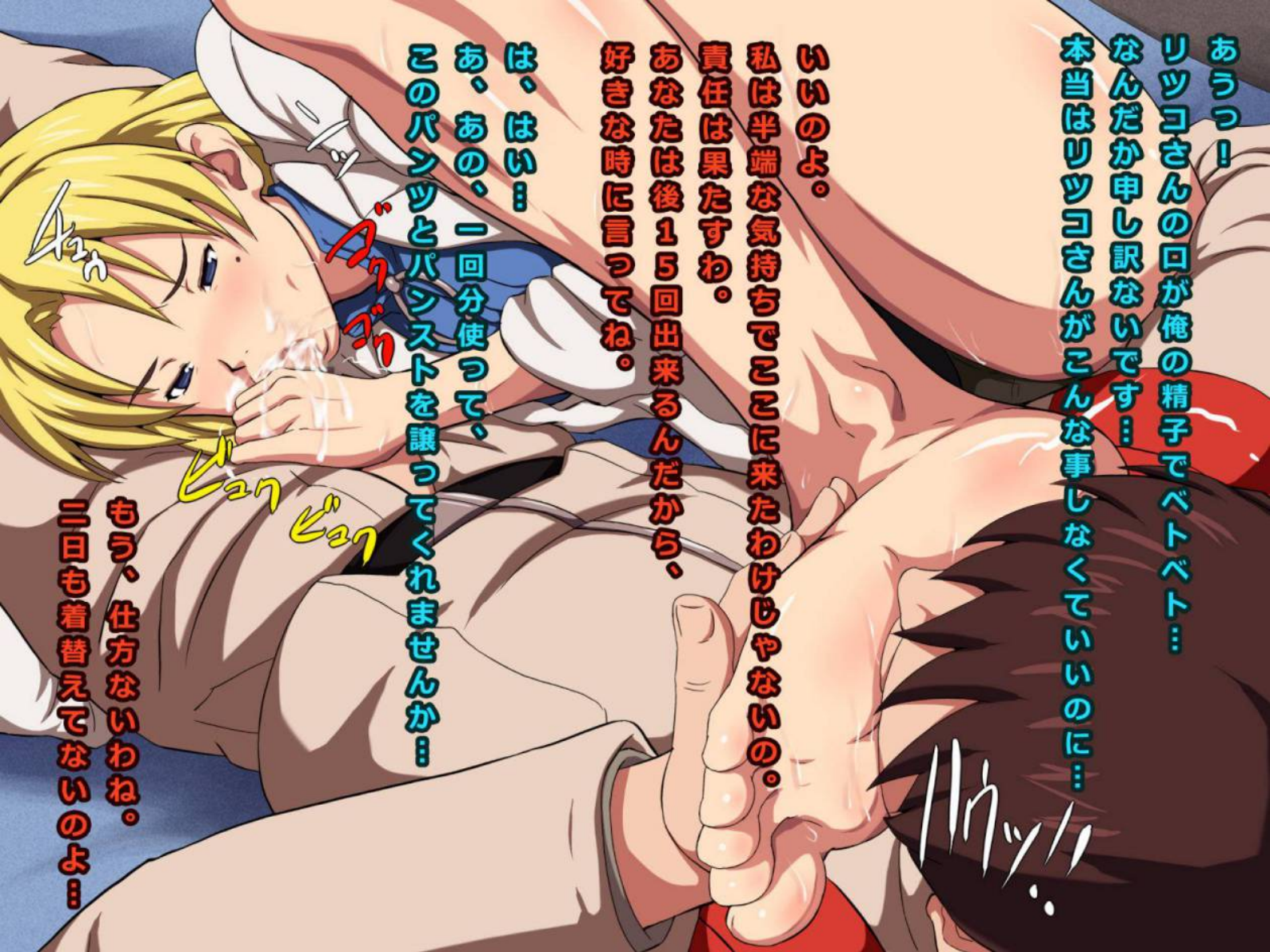
あ、あの、一回分使って、  
このパンツとパシストを譲ってくださいませんか…

グッ  
グッ

ビーン  
ビーン

もう、仕方ないわね。

二日も着替えてないのよ…



あ、あの、やっぱりマズいですよ！  
僕にまでこんな事をしてくれなくても！  
僕も責任を取る側ですから！

ここまできて何いってんの。  
いいのよ。

思いっきり楽しんで。

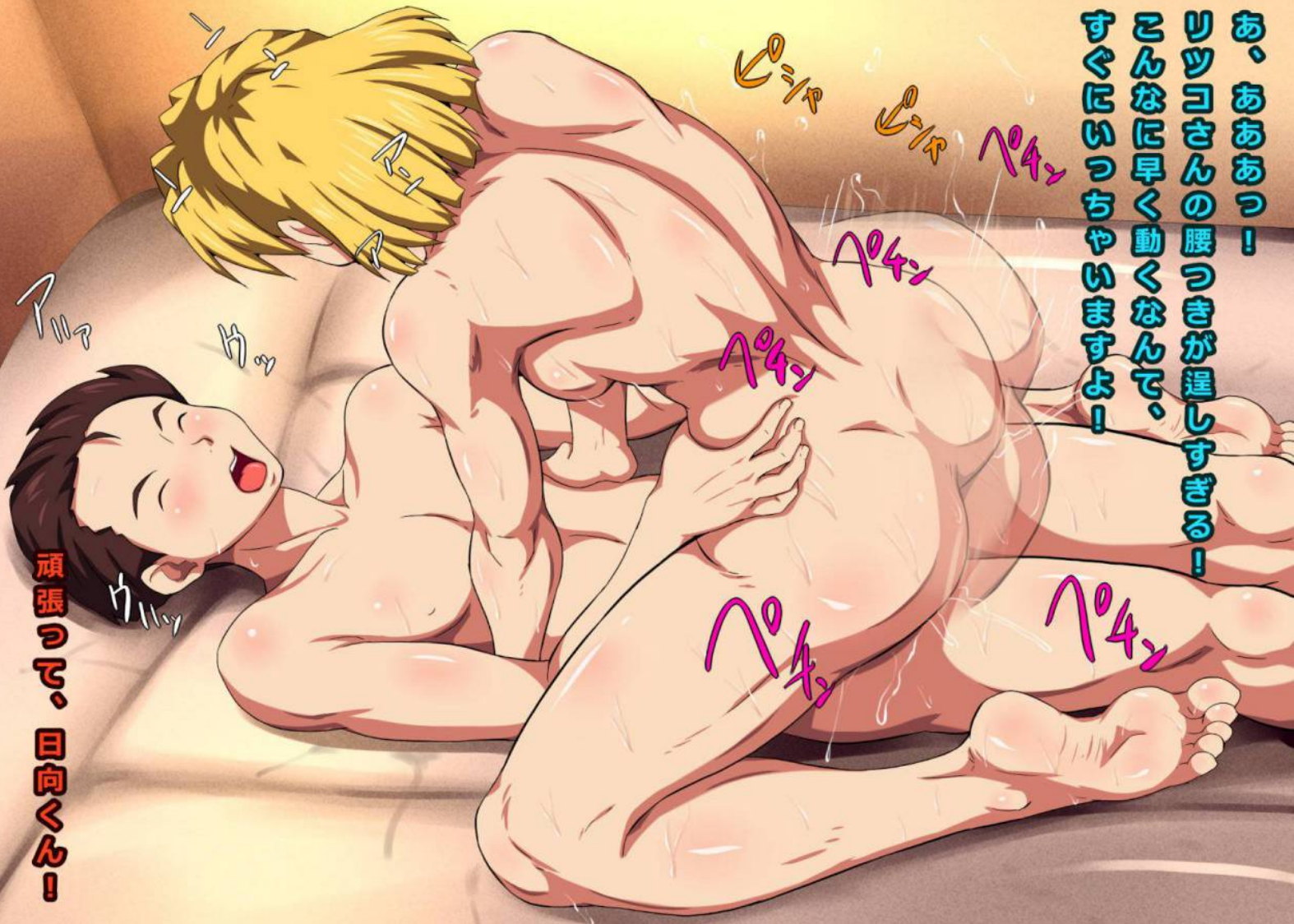
リツコさんとこんな事したら！  
これからどんな顔して仕事していいのか！

もうあなたとは顔を合わす事はないのよ。  
こういう事以外では。

ん。

117

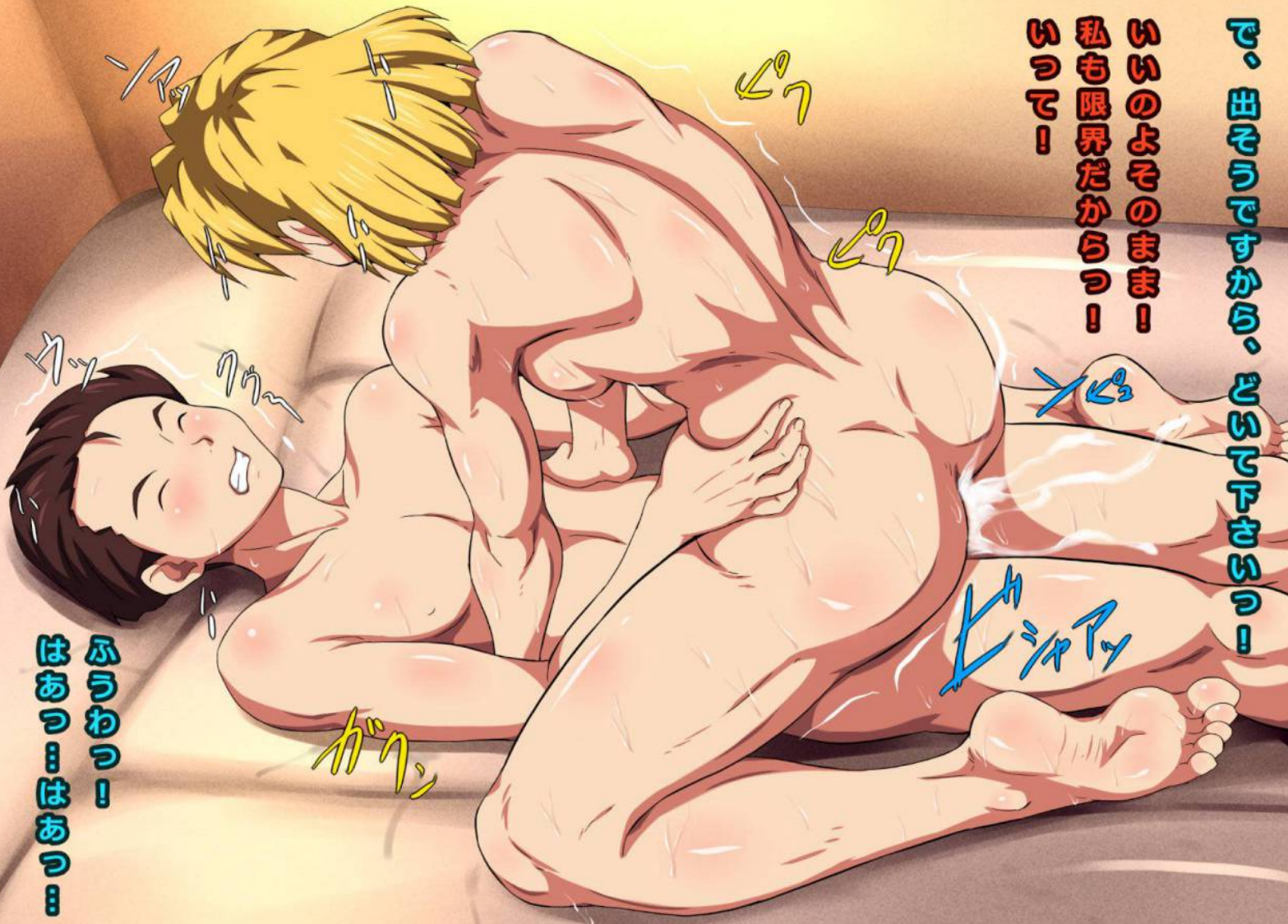
あ、あああつ！  
リツコさんの腰つきが遅しすぎる！  
こんなに早く動くなんで、  
すぐにいつちやいますよ！



頑張っで、日向くん！

で、出そうですから、どっさりお尻を尻にー

いいのよそのまま！  
私も限界だからっ！  
いって！



ふうわっ！  
はあっ…はあっ…

ガッ

シヤッ

シヤッ

シヤッ

シヤッ

シヤッ

シヤッ

す、凄いつ  
摩擦であつつい！  
リツコさんはどんな任務でも  
一生懸命やりすぎです！  
う、うわ、絞り出されるううう！  
リツコさんがこういう事に慣れてるとは  
知りませんでした！

慣れてるってのは  
褒め言葉にならなりのよ。  
日向くん。

す、すいませんっ！





キヤッ  
あなた、いったいどれだけ入ってるの！  
こんなに沢山出るって。

ああっ舐めないで！  
ビクビクしますっ！

綺麗にしてあげるから暴れないで！

わ、わかりましたっ



リツコさんの股間に包まれていくわー

SS  
SS  
。んんん。

は、はい、お願いしますー

ググ

ググ

ググ



はあっはっはっはっ

ふうっ！

あっあっあっあんっ

私よりもっと若い子が良かったでしょ？

ふっんっんっ

私しか空いてなくてごめんね。

そんな事ありません！

リッコさんで本当に良かったです！

僕、リッコさんが

一番綺麗だと思いますから！

ふふ！ありがとね。



あっあっあっ  
ビクビクしますっ！  
あっ止まらないっ！  
んああっ！

ふうう、一休みする？  
今日は時間があるし、  
ゆっくりとしてあげるわ。

はい、じゃあお言葉に甘えて。

リッコさん！

これからも何人もの男と！

こういう事をするんですか？

僕が言える立場じゃないかもしれないけど…

悲しいです…

あなたが心配する必要のないよ。  
日向くんは特別、私が空いてる時なら  
何度でも相手してあげるから。

はい…お願いします！

